

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム丹原の郷

(ユニット名)

南町

記入者(管理者)

氏名

山内 美登里

評価完了日

平成 19 年 5 月 7 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月27日

【評価実施概要】

事業所番号	3870600750		
法人名	株式会社ジェイコム		
事業所名	グループホーム丹原の郷		
所在地	愛媛県西条市丹原町池田1267-1 (電話) 0898-76-2880		
管理者	山内 美登里		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月12日	評価確定日	平成19年6月27日

【情報提供票より】 (平成19年5月25日 事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年6月18日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤	24人, 非常勤 0人, 常勤換算 21.9人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,200 円	
(3)利用者の概要 (平成19年5月25日現在)			
利用者人数	27 名	男性 3 名	女性 24 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名
要介護3	11 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.4 歳	最低 68 歳	最高 95 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	あり・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・なし	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・なし	短期利用共同生活介護	
加算	あり・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所では、利用者の一日一日を大切に考えておられ、利用者ご本人の希望等も聴き取りながら支援しておられる。
ユニット間での職員の異動はあるが、新しい職員の視点や気付き等も大切にされており、いろいろな方の意見や気付きを事業所の質の向上に役立てておられる。
「利用者のできることはできるだけご自身で行ってもらおう」ということを3ユニットで共有しておられ、日々念頭において取り組んでおられる。
共用空間には、生花や観葉植物がいろいろな場所にさりげなく生けられており、又、手作りの作品や装飾等もあり、あたたかい雰囲気作りがされていた。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	・年代別で利用者個々の生活歴を把握しておられた。又、嗜好や行きたいところ等の聴き取りもされ記録し、職員間で共有されていた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)	・職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットの主任、センター長がまとめられた。ユニットごとに課題を明らかにされ、今後の取り組みについてもそれぞれで考えておられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)	・事業所の行事の様子を運営推進会議のメンバーにも見ていただくために、お花見会場で会議を開催された。利用者個々から得たアンケート結果について、出席者の方達から意見をうかがった。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)	・ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話をされている。利用者の居室にもご本人のフォトアルバムが置かれていた。又、共用空間にも行事時の写真が掲示されている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	・地域の敬老会の誘い等がある。又、地域の行事開催時には、事業所から何か手伝えることがないかということをお尋ねしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に経営者が作った理念を変更はしていないが、管理者が分かりやすい文章にして、職員間で共有している。		自分たちで理念を考えて作っていく事を考えている。
			(外部評価) 事業所は、利用者一人ひとりののんびり穏やかな生活を支援することを目指す理念と共に、地域の行事等へ参加することで地域の方達と交流できるよう理念を作っておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 名札の裏に理念を掲示しているが職員間では、全職員が十分に理解し、実践にむけての取り組みをしているかは、把握できていない。		理念についての重要性を、勉強会やユニット会で繰り返し、話し合う機会を設けるよう努めたい。また、ユニット内で理念や行動計画を作っていきたい。
			(外部評価) センター長は、事業所の理念について、日々の支援に基づきながら、職員に話しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 利用者、家族、地域の方々に理解してもらえようように、利用者を書いてもらって掲示をしたり、行事や運営推進会議の時に話している。また、地域の行事(秋祭り・神明祭り・七夕祭り・敬老会など)に、できるだけ、参加している。		職員が、家族や地域の方々に伝えるよう会話のなかで伝えていきたい。また、広報誌を配っているが、理念を載せていないので、載せる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎朝の散歩時に、出会った近所の方々に挨拶をしている。		挨拶だけで終わらせるのではなく、農作業をしている肩にも話しかけ、親しみを持ってもらえるようにする。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 交流が持てるように常に努めている。秋祭りの神輿、獅子舞、神明祭、丹原商店街への協賛、地区の敬老会への参加をしている。 (外部評価) 地域の敬老会の誘い等がある。又、地域の行事開催時には、事業所から何か手伝えることがないかと言うことをお尋ねしている。		地域の行事の情報を調べたり、婦人会の方に聞いたりしながら、参加して行きたいと思う。 さらに、今後は事業所のご近所の方達との関係性を深めていきたいと考えておられ、まず、ご近所の方達にもさらに事業所のことを知っていただけるよう、取り組みをすすめていきたいと考えられている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 同じ敷地内にデイサービス事業や居宅支事業があるので、訪れる高齢者も多い。グループホームの職員も、尋ねてくる高齢者の対応をしたり、ユニット内で一緒にお茶を飲んだり、餅つきを一緒にすることもある。		現状を続けていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で意義を理解している者が少ない。十分に取組んでいるとはいえない。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットの主任、センター長がまとめられた。ユニットごとに課題を明らかにされ、今後の取り組みについてもそれぞれで考えておられた。		勉強会で、評価の意義を話し合い、理解していけるよう取り組む。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			家族や利用者にも、参加してもらっている。職員も各ユニットから代表で参加し、日頃の様子や、行事の報告をしている。民生委員や市の担当者と話し合っている。		多くの関係者の参加を継続していきたい。話し合いの中で、改善に努めたい。
			(外部評価)		
			事業所の行事の様子を運営推進会議のメンバーにも見ていただくために、お花見会場で会議を開催された。利用者個々から得たアンケート結果について、出席者の方達から意見をうかがった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市の行事に協力したり、当事業所の花見や祭りに参加してもらっている。		行事に参加して頂き、親近感を持つ事が出来たので、機会があるごとに参加してもらいたい。
			(外部評価)		
			事業所でデイサービスやショートステイを行うために、市へ相談されている。さらなる地域の認知症ケアの向上のためにも、地域の介護サービスのニーズを聞き取り、市と話し合っていきたいと考えておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			すべて、管理者が対応している。制度についての勉強会や研修には参加した職員もいる。		職員も権利や制度について、理解を深めるようユニット内で勉強会をしていく。その時に、管理者に協力してもらおう。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止法等についての理解への取り組みを、朝会・勉強会でしている。		虐待が起こらないようにしていく。また、虐待を見過ごす事の無いようにしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 全て、管理者が行っている。		職員も契約書の内容を熟知し、説明ができるようにしていきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に参加して頂いている。利用者にアンケートをとったり、ユニット会の時に、利用者の声をまとめて、報告している。		利用者へのアンケートを続けていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月、家族に利用者の日常生活を文章で報告している。また、広報誌も送付している。体調や精神面に変化があったときは、電話で連絡し、報告している。		毎月の日常生活の報告を継続していく。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話をされている。利用者の居室にもご本人のフォトアルバムが置かれていた。又、共用空間にも行事時の写真が掲示されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議を開き、市の職員や民生委員地区の役員、家族、利用者と一緒に話す機会を設けている。また、家族会を開き、意見交換もしていただいている。		家族のみで話し合っただき、本音を語り合う機会を設けていきたいと思う。
			(外部評価) 現在は、ご家族等からの要望はあまり出ず「事業所にお任せします。」という声が多いようである。		今後は、利用者のご家族、又、センター長や担当の職員等で定期的に話し合う場を設けたいと考えておられる。顔を見ながら話し合うことで関係性を深め、意見を聴き取りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会、勉強会、個人面談をし、意見や要望などを述べている。入職間もない職員に対しても、気付いた事などを述べるよう管理者より、言われている。		業務の改善や、介護力の向上への意見交換をしていきたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の生活に応じた勤務体制をしていると思う。職員の体調不良や家庭の事情に応じて、休暇が取れるように調整している。管理者も勤務体制に協力してくれている。行事の時は、出勤者を多くしており、協力できている。		行事や外出の時は、出勤者を多くし、利用者が楽しめるよう、安全にも配慮していきたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者が馴染みの職員による支援を受けられるように努めている。		利用者、家族から信頼感を持ち続けていただけるようにしている。ユニット間での職員の移動による、メリットもあると考えている。
			(外部評価) ユニット間の職員の異動等により、いろいろな利用者とかかわることで職員は経験を積んでおられる。		ユニットのリーダーを主に、利用者ごとにノートを作り、申し送りの漏れがないよう取り組まれることを考えておられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所内で、毎月勉強会を開催している。法人内でも勉強会を開催しており、参加できるようになっている。外部研修の内容を、職員間で共有できるよう勉強会で、発表している。		段階に応じた研修への機会を与えられるようにしていきたい。研修の報告書を早く提出し、職員間で共有できるようにしていく。
			(外部評価) 事業所内で勉強会等を行っておられ、日常の中では、新人職員は、自分だけで決めてしまわず先輩職員に相談しながらアドバイスをもらう等、連携をとりながら取り組まれている。		さらなる事業所の質向上を目指して、職員個々の研修の希望等も聴き取りながら、すべての職員がスキルアップできるよう、研修の計画をされてみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			外部研修を通して、他のグループホームとネットワーク作りができるよう努めている。連絡協議会やグループ法人内での交流があり、情報を得る事ができる。		グループ法人内のグループホームとの交流をもっと持てるようにしていきたい。
			(外部評価)		
			外部研修時、他の事業所の職員の方達と共に学んでおられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者が職員の個人面談を行って、悩みや不満を聞いている。普段から、悩みなどを話せるような雰囲気を作ってもらっている。		勤務時間中に、気分転換を図れるような時間を作るように管理者から要望があるが、十分にとれていないので、努力していきたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得や仕事に対する励ましや助言をしている。		運営者の参加を定期的にしてもらえるように依頼していきたい。
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			管理者からの情報を得て、関係作りに役立っている。		職員間で、情報を共有し、利用者との交流を深めてからの入居にいたるようになっていきたいと思っている。早い時期に利用者の生活歴を把握できるように努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者が殆ど対応しており、家族の要望やこれまでの経過などを伝えてもらっている。		ゆっくりと話をきけるような時間を作りたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人やご家族に思いを聞いて、改善に向けた支援を提案している。		状況などを確認し、相談を繰り返す中で、信頼関係を築いていきたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人やご家族に見学してもらおう事で、グループホームでの生活を見極めてもらっている。在宅サービスご利用の利用者の方の中には、隣接のデイサービスセンターの利用中に、ホームとの交流を持ち、施設や職員に馴染んでから入居されるように支援している。 (外部評価) ご自宅から事業所へ入居となる方も多い。事業所側からご自宅を訪問されたり、事業所の見学もしていただいている。入居後はご家族が毎晩様子をうかがいに来られたり、又、外泊をされる等、馴染んでもらいやすいよう取り組まれている。		職員が自宅に出向いたり、遊びに来てもらったりすることを繰り返しながら、安心感を持ってもらえるようにしたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は、人生の大先輩であるゆえ、利用者に教えてもらいながら、穏やかな生活ができるように工夫している。料理を一緒に作ったり、味付けを教わっている。 (外部評価) 利用者が穏やかに暮らせるよう、職員自身でも穏やかにいられるよう心がけておられる。職員は、家事と一緒にされたり、味付けについて意見を聞いたりされていた。		支援する側、支援される側、という意識を持たず、共に協力していけるような関係を作っていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来訪時などに、利用者の日々の生活の様子を家族に伝えている。家族の思いなどを聞きながら、情報の共有ができるように努めている。		利用者の様子や、職員の思いを細かく伝えることで、協力関係が築けるようにしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 花見・敬老会・クリスマス会等の行事に家族を誘って、疎遠になりがちな家族にも関係を継続できるように働きかけている。面会時間を制限せず、夜間でも訪ねてくれるようにしている。手紙や電話なども職員が援助し、やりとりを継続させている。		来訪時には、利用者と家族の潤滑油になるよう心がけたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔から利用している理容室へ行ったり、昔馴染みの知人や近所の方々に遊びにきてもらったりしている。		利用者一人一人の生活習慣を尊重していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 食事やおやつの時間に職員も一緒に会話しながら、皆で楽しく過ごせるよう場面作りをしている。職員が介入することにより、交流がもてたり、共通の会話や家事をすることができている。利用者同士の雰囲気が悪くなった場合は、職員がすぐに介入している。		利用者同士の関係性について、職員間で情報を共有し、トラブルが起こらないよう見守っていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他の介護保健施設に入居された方については、管理者が付き合いを継続しているのみである。		入院された方のお見舞いに、利用者に行くようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意思を尊重するよう努めている。利用者の悩みや思いをじっくり聞いている。また、ユニット会で、職員間で利用者個々の話し合いをし、利用者の思いを職員間で共有するよう努めている。意思の疎通が困難な方については、ご家族から情報を得よう努めている。		本人の悩みや思いを、じっくり聞き、記録に残していくようにする。
			(外部評価) 年代別で利用者個々の生活歴を把握しておられた。又、嗜好や行きたいところ等の聴き取りもされ記録し、職員間で共有されていた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者やご家族から、話を伺っているが、生活歴の把握はまだ不十分である。		利用者との会話の中から、昔の生活などを聞き出し、記録していき、職員間でも共有できるようにする。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) その日の体調や精神面をみながら、できることに視点を向け、個々の状態を把握している。		その日、その時だけの利用者の状態にとらわれず、日々の暮らしの中で、本人の全体像をつかんでいき、できる能力を引き出せるよう努める。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者・家族の要望を踏まえ、職員で話し合い、介護計画の作成に取り組んでいる。		職員の視点になりやすいので、本人の要望を深く掘り下げ、要望の真意をつかみ、介護計画に反映できるようにしたい。
			(外部評価) 現在は、ご本人やご家族からの希望・要望が出にくいようであり、職員が気付きや情報を持ち寄り、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月のユニット会で、職員間の意見交換を行い、介護計画の見直しをしている。来訪時に、家族の要望なども聞きながら、作成している。		利用者や家族の要望から、ずれていないか確認しながら見直しをしていく。体調や心理面での変化に合わせて、介護計画の見直しを行っていく。
			(外部評価)		
			利用者の状態に応じて3~6ヶ月ごとの見直しを行っている。身体機能の低下や病気、服薬の内容が変わった時等には、随時に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日の利用者の様子を記録している。利用者全員の生活記録を1冊のファイルにまとめ、職員間で共有しやすいようにしている。また、精神面、身体面で変化があった事柄には、下線を引き、見やすくしている。また、利用者別の申し送りノートも活用している。		文書だけでなく、職員間の連携を密にし、情報の共有に漏れがないか、確認しながら、行って行きたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			状況により、デイサービスを利用したり、居宅支援事業所のケアマネージャーに、福祉用具のアドバイスを受たり、市の高齢者サービスの利用手続きを依頼したりしている。デイサービスの利用者と交流の機会がある。管理者にまかせている。		デイサービスの利用をする等、隣接の特性を生かすような援助をしていく。
			(外部評価)		
			美容室に行かれたり病院の受診等には同行し支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 歌や踊りを披露してくれるボランティアが来てくれている。美容師、理容師の方が来てくれ、眉カット・きわぞりをしてくれる。近くの保育園児や中学生の慰問や交流がある。		今後もボランティアの方々との関係を継続し、協力して頂けるように働きかける。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 管理者に任せている。		管理者に任せる。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 管理者に任せている。		管理者に任せる。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族と話し合い、希望する病院に受診できるように支援している。当事業所のグループ法人である病院から、毎週水曜日に内科医師が往診に来ている。医療との連携がとれている。体調管理や相談、診察を受ける事が出来るので安心である。近くの病院も協力してくれる。 (外部評価) それぞれのかかりつけ医を受診されており、市外等の病院にかかっておられる利用者については、ご家族が同行することとなっている。協力医療機関に気軽に相談できる。病院にかかっておられない利用者の方もおられ、お誕生日に協力医療機関で健康チェックをされている。		本人・家族と話し合い、希望する病院を受診できるように支援する。定期的な往診や受診の支援を続ける。また、医療面での連携は継続させていきたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の専門医に限らず、適切な指示や助言をもらっている。		認知症に関する診断や治療対処方法など、医療関係の対応が利用者個々にできるようにしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を配置しており、常に利用者の体調管理や状態変化に応じた支援をしている。		日頃の健康管理や医療面の相談助言対応を継続して行ってもらう。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、介護要約等の入居時の様子を医療機関に提供している。また、入院中の状態を病院や看護師から密に聞いている。		スムーズな退院につながるように、病院関係者・本人・家族と話し合い、必要な支援を行っていききたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 管理者が行っている。利用者の心身の変化があった時は、家族に連絡・相談し、今後の事について、話し合い、スタッフに伝えている。		状態の変化があるごとに、家族の気持ちの変化に注意を払い、話し合い、必要な支援を行っていききたい。
			(外部評価) 認知症の症状の悪化での退居はないが、利用者の身体レベルの低下の状態によっては、グループホームでできることできないことについて、ご家族と話し合いをされ、施設や病院等を紹介されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 急変した場合は、すぐに対応できるよう、医療機関とも連携を図っている。		医療との連携体制を継続し、備えをしておきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 注意が必要な点については、文書で詳しく情報を伝えている。必要に応じては、アセスメントやケアプランや支援経過などの資料を渡すようにしている。		住み替え後も、馴染みの職員が機会を作って訪問に行くなど、環境の変化による認知症の進行のないよう協力をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			言葉遣いには、十分注意している。更衣・排泄・入浴等、本人が不快感や羞恥心を感じないように配慮している。プライバシーに関することは、主介護者である家族以外には、絶対に話さないように努めている。		馴れ合いになることのないように、言葉かけに、もっと気をつける。ユニット会で、言葉遣いに関しても、馴れ合いになっていないか、振り返る場を作る。プライバシーの保護は、職員間で徹底して行う。
			(外部評価)		
			職員は、利用者の排泄の誘導時、耳元で声をかけておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の気持ちをできるだけ理解するように努めている。食べたいものや行ってみたいところ、したいことなどを聞き、反映できるように努めている。		自己主張をあまりしない利用者に対しては、ゆっくり話をしたり、表情から読み取っている。
			(外部評価)		
			個々のペースに合わせて、散歩・外気浴・家事などをすすめている。常に、本人に意思を聞きながら、本人の気持ちを大切にしている。		家事やレクリエーションをする時も、利用者個々の気持ちを伺いながら、すすめていく。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者個々の性格や好み等を職員は理解し、支援しておられる。		個別で細やかなケアが特徴のグループホームの良さをさらに活かして、さらに個々のその人らしい暮らしを支援していかれることが期待される。事業所では、利用者のご自分でできるだけしてもらうよう、支援したいと考えておられ、さらなる自立支援に向けた取り組みが期待される。
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自己主張をあまりしない利用者に対しては、声をかけながら、本人の好みの服装を選んでもらうよう支援している。散髪は、本人の希望があれば、職員が行っている。外出時にお化粧をする方もいる。室内履きなど、職員と一緒に買いに行くこともある。		家族と相談し、服を購入する際は、職員と一緒に買物に行く事をしていきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜の皮をむいたり、切ったり、盛り付けなど、利用者で行っている。利用者の好みのものを、献立に取り入れている。職員が利用者と同じテーブルに座り、一緒に食事をしている。 (外部評価) 利用者が食事をする時の姿勢等にも配慮されていた。利用者が職員と共に食事の支度をされたり、洗い物をしておられた。らっきょ作りや梅干し、梅ジュース作りをされていた。		利用者の好みも取り入れているが、職員が中心になったメニューになっているので、もっと利用者の意見を取り入れるようにする。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒・煙草を飲む利用者は、いない。10時と15時のおやつの中には、どんなおやつが食べたいか聞き、取り入れている。飲み物は、全員同じ物になりがちである。		お茶の時間には、何種類かの飲み物を用意し、個々に選んでもらえるようにする。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレの場所が和からには、さりげなくトイレに誘導している。また、長時間トイレに行かれない方は、時間を見て、さりげなく誘導している。排泄チェック表を使用し、排泄のリズムを把握できるようにしている。		利用者のサインを見逃さないようにし、さりげなく誘導できるよう心がける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日、午後から、全員の方を入浴に誘っている。入浴の順番で、利用者からの不満の声があったので、順番を決めて、誘っている。日中は、入浴を拒否されるが、夜になると入浴を希望される方は、夕食後に入浴している。節句には、菖蒲湯にしたり、入浴剤を使用したりし、楽しめるよう努めている。		自分で入浴の準備ができるように支援する。湯の温度や量も好みをきき、ゆったりと入浴して頂けるようにする。
			(外部評価)		
			利用者のこれまでの生活スタイルを継続して、夕食後に入浴される方もおられる。午後に入浴を勧めても気乗りしなかった利用者の方でも、夕食後には入られるようである。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中、横になりたい利用者の方は、お部屋で休んで頂いている。リビングの横に和室があり、いつでも利用者の方が横になって休めるよう、枕やハーフケット等を置いている。		日中、できるだけ身体を動かし、薬に頼らずとも、安眠できるように職員間で情報を共有し、どの職員も対応できるように支援していきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			家事が好きな方には、家事をしていただいたり、園芸が好きな方には、花や野菜作りを職員と一緒に頂いたり、個々の好きな事が続けられるよう支援している。		利用者との会話の中から、好きな事やしてみたいことを聞き出し、支援していけるように取り組む。
			(外部評価)		
			読書やお部屋の掃除や庭の草花の水やり、犬の世話や外出等それぞれに役割や楽しみごとを持っておられる。職員は、行事等を通して楽しむ機会や動機付けをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			職員と一緒に買物に行ったり、週1回来る移動パンやでパンを購入するなど、お金を使えるように支援している。お金を自分で持っている方は、1名である。希望時に使えるように支援しており、出納帳をつけて管理している。他の利用者は、管理者により立替払いをしている。		本人が買物を希望される方には、家族と相談して、自分で支払うようにして行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			グループホームの敷地内や周辺の散歩の支援をしているが、個々の希望に応じて戸外へ出掛けることは、あまりしていない。職員と一緒に買物に行ったり、月に1回程度は、利用者全員で、ドライブや外食などに出掛けている。		なじみの場所への外出にも、取り組んで行きたい。
			(外部評価)		
			ユニットごとに行事を計画され、外食やドライブ等、外出をされている。又、犬の散歩や敷地内の散策も日常的にされている。		さらに今後、事業所では、利用者の身体レベルのことや個々の希望を踏まえて少人数で外出することも検討されている。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			日用品・おやつのお買物や散髪への支援は行っている。食事や墓参りなどは、家族と一緒にしている。全ての利用者の希望通りには、対応できていない。		旅行をしたい気持ちはあるが、実行できていないので、今後、取り組んで行きたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の要望に応じて、電話の支援をしている。家族から手紙が来たら、職員が支援し、返事を書いている。		今後も、続けて行きたい。暑中見舞いや年賀状などを利用者が出せるように取り組みたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問に来ていただいたときは、気持ちのよい挨拶をし、利用者のお部屋でゆっくりと過ごして頂けるように配慮している。		これからも続けていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は、行っていない。研修に参加している。		継続して取り組んでいく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は、鍵をかけていない。夜間は、21時から玄関・ユニットの入り口に鍵をかけている。帰宅願望や強い時や外出時は、職員が付き添っている。		継続して取り組んでいく。
			(外部評価) 玄関は開放され、靴箱の上には利用者個々の帽子が積み重ねてあった。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者が、自室で過ごしている時は、時間を見て、声をかけて、様子を把握するよう努めている。帰宅願望が強い方や、不穏になると外へ行きたがる方がいるので、見守りには努力しているが、気が付かず、他のユニット職員から知られることがあった。		声かけをしながら、所在確認を怠らないようにする。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 不穏になると、杖で他の利用者を叩く事がある利用者は、必要でない時は、杖をしまっている。個々により、危険と思われるものは、職員がお預かりしている。必要な時には、お渡ししている。(ハサミ、針など)		希望時には、すぐにしようできるように努める。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故があったときは、ユニット内で、原因や今後の注意点などを話し合い、再発の防止に努めている。事故があった場合は、報告書を作成している。		同じ繰り返しをしないよう、ユニット会で話し合う。勉強会や研修で、繰り返し学ぶように努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会を行っている。		勉強会、研修会などに参加している。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年1回に火災を想定した、避難訓練を行っている。厨房からの出火を想定し、入居者の安全、避難場所を確認し誘導している。		昼夜を問わず、利用者が避難できるように働きかける。
			(外部評価) 大雨の時には、市役所の支所から排水の状態を見に来てくれる。いざという時には、近隣の鉄工所の協力が得られるよう働きかけておられる。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては管理者が行っている。		計画作成担当者、主任、管理者が行っている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、バイタル測定を行い、異常があったとき、看護師に相談し、診てもらい、指示を受けている。		病院受診している。看護師やリーダー等に報告し、相談している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬表を確認し、目的、副作用、用法、要領を把握して服用してもらっている。		担当の医師の指示にもとづいて服薬してもらっている。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘気味の人には、スタッフと相談し、薬を飲んでもらったり、繊維のある物を食べてもらっている。		ラキソベロン液を服用して調節してもらったり、センナ茶、ヨーグルト、バナナ、ヤクルト等の摂取を勧めている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 声かけ、誘導し、口腔ケアを促している。		磨き残しがないかスタッフが確認し、磨きにくいところは介助している。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分は、10時、15時、20時、入浴後に摂取してもらっている。食べる量もその人に応じて状態を見ながら調節している。		あまり水分を摂らない方には、飲み物を変えるなどの工夫している。
			(外部評価) 旬の食材をふんだんに利用して、職員と利用者が調理をされていた。利用者個々の水筒が用意されており、利用者が自由にお茶を飲むことができるようになっている。又、水分摂取量が把握できるようになっている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 外から戻ってきたら、必ず手洗い、イソジンでうがいをし、排泄後の手指の消毒を実施している。食物の保存・管理を適切に行っている。		手洗い・イソジンによるうがい。排泄後の手指の消毒の徹底。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組の事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所は使用後、床ふき、まな板の消毒など、必ず掃除している。</p>		<p>冷蔵庫の内外の拭き掃除。台所の床拭き、コンロ周りの掃除、まな板の消毒の徹底実施。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は出入りの多い場所であるので、転倒予防のため足元には物をおかず安全を確保している。</p>		<p>安全を確保した上で、花を飾り、季節感などを出し、殺風景にならないように工夫している。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>それぞれの居室が殺風景にならないように、ご利用者と相談しながら飾りつけなど工夫している。また、浴室トイレなど皆が気持ちよく使えるように常に清潔に気をつけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、生花や観葉植物がいろいろな場所にさりげなく生けられており、緑の多い空間となっていた。又、手作りの作品や装飾等もあり、あたたかい雰囲気作りをされていた。</p>		<p>利用者がゆっくりとくつろげるよう、写真を飾ったり、花を置いたり、また、くつろげるような椅子を置いている。また、整理整頓に心がけ、居心地の良いようにしていく。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有スペースのリビングに花を飾ったり、季節に応じた絵画や写真などを飾っている。利用者同士の関係に留意しながら、それぞれの場所でくつろいで過ごせるように、ソファなどのレイアウトを工夫している</p>		<p>入居者同士、入居者とスタッフなどが会話を楽しめるように、椅子のレイアウトを工夫したり、話題提供となるような季節に合った置物などを考える。また、玄関などは家族などを迎え談笑など出来るスペースを作る。和室などに座布団、コタツなどを置き慣れ親しんだ環境で談笑できるようにしている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)			
			御本人・家族と相談しながら、その人のくつろげる雰囲気を作るようにしている。			慣れ親しんだ環境で生活できるよう、家具の配置、寝具の選択など相談し、見直していきたい。
			(外部評価)			
			利用者同士の居室の行き来やしつらえ等を工夫し、くつろぐ空間となっている居室もうかがえたが、中にはご本人のその人らしさが、うかがいにくいような居室もあった。		さらに、今後事業所では、ご本人の好みなどを踏まえ、職員でアイデアを出し合いたいと考えておられた。	
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)			
			毎朝、掃除をする時に、窓を開け空気の入替えをし、新鮮な空気が居室に入るようにしている。			外気温に応じてエアコンを調節し、快適に過ごせるように施設内の温度、湿度などに気をつけている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)			
			出来るだけ自立した生活が出来るように、トイレ、浴室などに手すりを設置。また、各居室はその人に応じた動線が確保できるように考慮して家具などを配置している。			御本人、家族、スタッフで相談する機会を持ち、居室の様態替え、共有部分での過ごし方などを再検討していく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)			
			お一人お一人について定期的に加ファリスを開催し、ご本人の気持ちや日常生活レベルについて検討した環境作りに努めている。			ユニット会で各スタッフが情報・意見交換し、ご本人の不安感を少しでも取り除いて、安心して生活できるようにしていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)			
			畑を作って、季節の花や野菜などを楽しめるようにしている。また、お天気の良い日に外で食事などができるようにバラソル、ベンチなどをベランダに置いている。			入居者が率先して野菜作りや花作りなどを楽しめるように、スタッフがどのような工夫をすればよいかいろいろ情報を集めて相談していきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中で利用者の思いを汲み取るようにしている。その人の姿をよく理解するために職員同士で情報を共有し合えるようにしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日中は利用者がリビングに出てくることがほとんどであり、職員と共に話したり調理や洗濯物たたみをゆったりとした雰囲気で行っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	目覚めや就寝時間、入浴時間などもある程度は利用者のペースに合わせている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	昔懐かしい食材で調理をしたり、高齢者の好きな献立にしたり、地域の特産物を食べて顔がほころぶ事が多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者が自由に行きたいところに行けているとは考えられない。家に帰りたくて心では思っている希望をかなえてあげられていない。しかし、外出など職員が誘った時でも大変喜んでいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理においては毎週の往診や、異変時には看護師や医師の対応しているからか苦情はない。主治医や診療情報については管理者と家族度々話し合っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	家族との会話の中や日常の職員とのやりとりから楽しく過ごしていただいているように思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	管理者が主に対応しているが、面会時などに話を聞いたり相談にのることもある。いろいろな連絡や面会時、行事参加時などのご家族の雰囲気からは信頼関係はできていると思われる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	尋ねてくれる人が決まっている。近くの畑の方は野菜ができたとき持ってきてくれる。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	始めはよそよそしかった参加者が回を重ねるといろいろの質問をしてくれるようになった。
98 職員は、生き生きと働いている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者といろいろのことを一緒にしたり話したりすることを職員が多い。一緒に笑ったり泣いたりしている。行事の時は休みでも参加したり手伝ったりしている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情や会話からおおむね満足しているように感じる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) ① ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時や行事の時運営推進会議の時、また体調不良時に連絡をした時などにはあまりご不満の声を聞かない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

グループ医療法人の協力があるので、利用者や御家族はもとより介護職員も安心感がある。いつも健康状態を把握し、お元気に生き生きと過ごしていただくために医療管理面での注意を払っている。
 のどかな土地柄を活かし、田舎特有の生活を取り入れるようにしている。
 食べ物では季節を味わっていただけるように工夫し喜ばれている。草もちや芋餅などのおやつを作ったり、きんかん煮、漬物、切干大根、梅干、らっきょう漬、果実酒づくり等をしている。
 地域の知り合いが声かけてくれイチゴ・さくらんぼ・スモモ・柿・いちぢく・みかん狩り等行っている。
 夏には丹原町の商店街の七夕祭りに七夕飾りを出品し賞を毎年頂いている。また、皆で庭には季節の花を育て楽しめるようにしている。それを通して地域の人との交流がもてるようにしている。去年は育てた菊で菊見会を開きご近所の方や御家族、近くの施設の利用者を招いた。今年も育てて計画している。